

平成 27 年度 神奈川県立霧が丘高等学校 学校目標

学校目標	取 組 の 内 容	
	具 体 的 な 手 立 て	評 価 の 観 点
<p>〈教育課程〉</p> <p>(1)一人ひとりの生徒の幅広い学習ニーズに応えることのできる多様で柔軟な教育活動を展開する。</p> <p>(2)福祉教育の充実を図るとともに、特色ある学校づくりの推進を図る。</p>	<p>(1)①生徒の学習ニーズの精確な把握に努め、現行の教育課程の教育効果について検証する。</p> <p>②生徒の進路希望や興味関心にマッチした進路希望別履修モデルを作成し、生徒の進路実現を支援する。</p> <p>(2)①福祉講座で、本校職員や在校生のボランティア実践例を紹介し、自分たちがボランティアにどのように関わればよいのかを考える機会をつくり、ボランティアへの参加を奨励する。</p> <p>②本校の教育目標や生徒・保護者のニーズ等を基に、本校の短期的、中長期的な将来像、目指すべき生徒像の検討を行う。</p>	<p>(1)①学習ニーズのサーチと教育課程に関する検証への取組状況</p> <p>②進路希望別履修モデルの作成、面談等を通じた履修指導の組織的な取組状況</p> <p>(2)①ボランティア活動への意識の向上と活性化の状況</p> <p>②生徒・保護者のニーズの把握と本校の将来像、目指すべき生徒像の検討の状況</p>
<p>〈生徒指導・支援〉</p> <p>(1)社会や集団の一員としての規範意識、社会貢献意識、及び主体的に社会に参画する力を育成する。</p> <p>(2)面談・相談体制を充実させ、生徒が安心して学び、必要とする支援を受けられる学校づくりを推進する。</p>	<p>(1)①集団の規則や時間を守り、安全・健康に生活する力を育てる指導を行うとともに、マナーや礼儀を弁えた生徒を育成する。</p> <p>②部活動や生徒会活動・委員会活動の活性化を図り、生徒の主体性を育む。学校行事では生徒の自主的な取組を通して、新しいことにも積極的に取組もうとするチャレンジ精神を育成する。</p> <p>③生徒会を中心に生徒が主体的にマナー向上に取組む体制作りを進める。</p> <p>(2)①各学年の職員、教育相談コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラーが協力して相談しやすい環境を作るとともに、情報交換の機会を設け生徒の現状把握に努める。</p> <p>②ケース会議の充実を図り、組織的な支援体制を構築する。</p>	<p>(1)①頭髪・服装指導の状況、遅刻の数、授業のチャイム開始チャイム終了・交通安全指導の状況、保健活動の状況、集会指導の状況</p> <p>②1年生の部活動加入率80%以上、部活動・委員会活動・生徒会等の活動状況</p> <p>③あいさつ運動ができたか、マナーアップへの広報活動ができたか</p> <p>(2)①生徒が相談しやすい環境を整備し、情報交換を定期的実施し、生徒の動向を把握できたか</p> <p>②ケース会議の要綱に則り、支援を必要とする生徒に組織的な支援ができたか</p>
<p>〈学習指導・支援〉</p> <p>生徒の学習意欲を向上させ、上級学校での学びや生涯学習に意欲的に取組む態度と確かな学力の育成を目指す。</p>	<p>(1)学校全体で授業の工夫・改善を組織的・計画的に進める。また、生徒による授業評価を効果的に活用し、授業改善の取組を推進する。</p> <p>(2)平日・長期休業中の講習・補習、勉強合宿等で、一人ひとりの生徒の学習意欲を高める指導を行う。</p> <p>(3)宿題や課題レポートなどを効果的に実施し、家庭学習や自学自習の学習習慣の定着を図る。</p>	<p>(1)授業見学、授業研究の状況、生徒による授業評価の活用状況</p> <p>(2)補習等の実施状況と参加者数</p> <p>(3)宿題、課題レポートの実施状況</p>
<p>〈キャリア教育〉</p> <p>(1)生徒のキャリア発達に応じた支援を行うため、3年間を通じたキャリア教育の体系化を進め、一人ひとりの進路希望の実現を図る。</p>	<p>(1)①1・2年生の総合的な学習の時間において、教科の枠を超えた横断的な学習や探究的な学習により主体的な学び方やものの考え方を身に付ける取組を行う。</p> <p>②進学希望者の模擬試験・実力テスト、公務員希望者の対策講座・模擬試験等を効果的に実施する。</p> <p>③生徒の多様な進路希望に対応するため、職員研修を計画的に実施し進路支援のスキルアップに努める。</p>	<p>(1)①1・2年生の総合的な学習の時間の実施状況</p> <p>②進学模擬試験、公務員対策講座・模擬試験の実施状況</p> <p>③進路支援スキルアップ職員研修の実施状況</p>

<p>(2)部活動・生徒会活動・学校行事・ボランティア教育等を活性化させ、生徒の自主的・主体的な活動を支援し、汎用的能力の向上を図る。</p>	<p>(2)①「部活動の日」を年間4回設定し、活動場所の整備や用具の点検、活動状況の把握、目標の設定・掲示やリーダーのための講習会を企画する。 ②部活動を安全かつ充実したものとするため、部活動安全対策事業を活用し派遣されたトレーナーを中心に怪我防止及び怪我からの早期復帰に向けた取組を行う。また、テーピング・マッサージ等講習会を企画し生徒自身が安全で効果的な運動ができる能力を養う。 ③生徒会行事の充実のために生徒会生徒との意見交換を行い、充実した行事が行えるように工夫する。 ④24年ぶりに復活する体育祭を、職員と生徒の実行委員会が協力しあい、安全に楽しく実施する。 ⑤霧トライバンクや福祉委員会の活動を通して、生徒が積極的にボランティア体験や交流行事に参加する環境づくりに努める。</p>	<p>(2)①「部活動の日」を年4回設定し、活性化につながる活動ができたか。 ②部活動安全対策支援事業を有効活用できたか ③生徒会本部のミーティングへの参加や議事内容の把握を積極的に行い、共に協力できる関係づくりができたか ④体育祭を生徒・職員が協力してできたか ⑤ボランティア等の活動への意識の変化の状況</p>
<p>〈地域等連携〉 地域との連携強化や広報活動の充実により、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>①双方向性のある広報活動を実施し、よりよく学校を理解してもらうため、直接的なふれあいを通じて、地域連携の輪を広げ、開かれた学校づくりを推進する。 ②校内だけでなく地域に出向き、学校説明会や交流行事を実施する。 ③様々な機会、手段を利用して教育活動を積極的に広報する。特に、ホームページの質・量の充実、学校紹介DVDをさらに向上させ、積極的に活用する。</p>	<p>①地域住民から親しまれる高校生として地域連携を広げることができたか ②学校説明会の実施とアンケート結果 ③ホームページによる情報発信の検証、DVDの作成と実施状況</p>
<p>〈学校運営・学校管理〉 (1)事故・不祥事防止を徹底し、教職員の実践指導力の向上を図る。 (2)生徒の意識を高める防災教育を行うとともに、防災や安全対策を一層強化する。</p>	<p>(1)①校内システムの再点検を通して問題点を洗い出し、不祥事ゼロプログラムを策定する。 ②職員の意識高揚を図るため、計画的に不祥事・事故防止研修を実施する。 ③日常的に点検チェックを行い、意識啓発に努める取組を行う。 (2)①防災マニュアルの周知徹底を図る職員研修を行う。 ②生徒の安全意識を高める防災教育の効果的な案を作成し実施する。</p>	<p>(1)①関係部署で校内システムの再点検の実施、不祥事ゼロプログラムの実行と達成状況の検証 ②校内研修の実施状況と効果の検証 ③日常的な点検チェックを行い、意識啓発の効果の検証 (2)①防災マニュアルに係る研修を実施したか ②防災教育を実施したか</p>
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など</p> <p>① 自律心や規範意識・徳性の育成 ……自律</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を確立し、自己管理能力の伸長を図る ・ 規範意識を醸成し、遵法精神を培う ・ モラルを高め、よいマナーを実践する指導を行う <p>② 学力の向上、夢や目標の実現に努める人材の育成 ……自立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上級学校や社会での学びにつながる学力をつける授業を工夫する ・ 3年間を見通した積み上げ型のキャリア教育を行い、一人ひとりの希望進路の実現を支援する <p>③ 豊かな人間性、他者とかかわる力の育成 ……参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動や生徒会活動・委員会活動、ボランティア活動等を活性化し、自己有用感や達成感を育む指導を行う ・ 諸行事や諸々の教育活動を通して、他者理解能力やコミュニケーション能力を育むとともに、積極的に参画する意欲や態度を育む 		